

古文書で見る「万年寺山」

名所と地域の人々の関わりを考える特別講座も

◎チラシあり

市立枚方宿鍵屋資料館（堤町 10-27）で、企画展「枚方の名所～万年寺山～」を7月26日（金）から8月26日（月）まで開催する。淀川沿いにある旧枚方宿の町並みを見下ろす小高い丘が万年寺山で、京阪二都のちょうど中間に位置し、数々の歴史の舞台となってきた。江戸時代末期に刊行された『河内名所図会』にも名所として紹介されている。今回の企画展は、地域に残る古文書等を活用し、万年寺山に注目した展示を行う。

★展示期間は7月26日（金）～8月26日（月）午前9時30分～午後5時（最終日は午後4時30分まで）。入館料は大人200円、小中学生100円。火曜日は休館日。

★江戸時代に刊行された「名所図会」は、江戸・畿内など諸国の名所旧跡・景勝地の由緒来歴や各地の交通事情を記し、写実的な風景画を多数添えた書物。中でも河内国の名所を記した『河内名所図会』は、享和元年（1801）に刊行され、現在の枚方市域に残る名所が多数紹介されている。

★展示資料（一部）

河内名所図会 六巻	享和1年（1801）	枚方市教育委員会
万年寺奉納絵馬	天保7年（1836）	意賀美神社
長松山万年寺縁起	寛延4年（1751）	枚方市教育委員会
長松山万年寺縁起大成	寛延4年（1751）	枚方市教育委員会文化財課市史資料室

★鍵屋資料館で下記の通り関連講座を開催。いずれも午後2時～3時30分。参加費は大人500円、小中学生400円（入館料・資料代を含む）。定員は先着で各80人。7月3日から電話で同館に申し込み。

① 8月3日（土）「近世の名所と地域の人々一名所・旧跡万年寺山を事例に一」

近世の名所は大坂の天保山をはじめ地域の人々が行楽・憩いの場として創り上げた事例が多い。万年寺山と地域の人々の関わりに焦点をあて、名所の意味を考察。講師は、佛教大学名誉教授の渡邊忠司氏。

② 8月19日（月）「枚方の万年寺山と大坂冬の陣」

旧『枚方市史』によれば、大坂冬の陣では、枚方万年寺山の御茶屋御殿跡あたりに徳川方の軍勢が配置されたという。なぜ徳川方は、枚方に軍勢を配置したのか。また、御茶屋御殿あたりに軍勢が配置されたというのは、事実なのか。講師は、市立枚方宿鍵屋資料館学芸員の片山正彦氏。

<お問い合わせ> 市立枚方宿鍵屋資料館 ☎・FAX：072-843-5128